

2022 年 5 月 8 日(19 週目) レムナント主日礼拝

「70 人弟子とレムナント運動」(申 6:4-9)

世の中は、サタンの民達と神の子ども達との戦いである。実際、ヨーロッパでは教会に若者がいなくなった。結果として、薬物中毒などの問題が増えた。しかし、神の国のために生きると答えもくる。アメリカは、キリストが栄えた時に樂園のような国となった。その時には、アメリカの子ども達の多くが教会に来て伝道・宣教を志していた。しかし、日本はレムナントが立ち上がることは一度もなかった。レムナント主日を通して、レムナント達の信仰を回復することが出来るように。レムナント達が、世界のトップのレムナントとなれるように。

○70 人弟子の特徴:①残りの者(福音)―①ただキリストで十分な信仰。②残る者(現場)―現場に伝道の扉が開かれるようになる。③残れる者(文化)―文化を生かすようになる。

④残す者(国)―国を生かすようになる。

1.ただキリスト	2.刻印運動	3.霊的力
▲シェーマというのは「聞きなさい」という御言葉である。ただキリストである。キリストは、唯一のお方である。 ○救われる道は、ただキリストの道である。多くの人々が偶像崇拜をしている。偶像崇拜は、悪魔の奴隷の生活。故に精神疾患、貧しさの中で苦しむ。 1)申 6:4(聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。) ・救い主は、ただキリストの一人しかいない。 ・ただキリストだけで十分、完全、満足になったことである。 ・子どもの頃からキリストに全て結論を下すように。 ○創世記 3:15―ヨハネ 19:30(イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した。」と言われた。) ・キリストが悪魔の頭を踏み砕く。 ・キリストが全ての問題を完了した - 信じることである。 2)申 6:5(心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。) ・ただキリストの信仰になった者は、ただキリストだけを愛する。 ・他のものはあっても良いが、無くても良いことである。 ○ピリピ 3:8(私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。) ・キリストに比べたら他のものは何もない。 ・私はキリストだけを愛する―キリストだけで十分・完全・満足 ・キリストで満足しないと、比較意識・劣等感に陥っている。 ・ただキリストになれば、全てのものが与えられる。 ○コロサイ 2:3(このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。) ・ただキリストだけが全てで、全てのものはついてくる。 ・ただキリストだけで満足をしていると学業・技能は与えられる。 ・キリストの中に全てがある(コロ 3: 11)。 3)使徒 1: 1、3、8 ・ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊充滿の信仰になるように。	▲御言葉を聞かないとサタンが奪っていかうとする。御言葉を正しく刻印するように。 1)申 6:6(私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。) ・心と考えに御言葉を刻んでいくときに、魂が生かされていくようになる。 ・両親に御言葉が刻印をされていくときに、子どもが生かされていくようになる。 ・ただキリストが刻印をされればキリストに従う 2)申 6:7(これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。) ・刻印が足りていないと劣等感に陥る。 ・刻印をされると私が幸せな人であると分かる。 ・刻印で幸せであるので伝道するようになる。 ・子ども達にキリストの御言葉を刻むように。 ・キリストに結論を下す人を残りの者という。 - そのような人を 70 人弟子という。 ・伝道したい思いが出てくる。 ・子ども達に、御言葉だけを刻印を続ける時に、世界をひっくり返すようになる。 ・使徒たち、70 人はキリストに結論を下した 3)申 6: 8-9(これをしるしとしてあなたの手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。) ・家族・職員同士でお互いに御言葉を刻印する。 ・ユダヤ人は、額に小箱をつけ(申 6 章の御言葉が入っている)、手に結び付けて刻印をする。 ・刻印して弟子をたてる事が出来るように。	▲神様は、刻印が出する為の力を与えて下さる。 1)創 1:27(神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。) ・人間は、霊的な存在である。 ・神の形として作り命をふき込んだ(創 2:7)。 2)ヨハネ 1:12(神の子どもとされる特権をお与えになった。) ○1 コリ 3:16(あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。) ・ただキリストで十分な信仰になるように。 ・キリストにより神の子ども、神の神殿である 3)使徒 1:8(聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。) ・力を受けることが出来る権威を下さっている ・聖霊充滿になったら不信仰に勝利を出来る。 ・力ある主の力が臨まれるようになる。 4)ルカ 10:19-20(確かにわたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。) ・悪魔を打ち砕く権威を与えて下さる。 ・一人のレムナントに一人の担当がついて、バックアップをしていくように。 ・朝は聖霊に満たされ力を受ける時間を持つ。 ・昼は聖霊の導きを受ける時間を持つ。 ・夜は一日中、感謝の信仰を持つ。 5)3.9.3 の祈り ▲結論―申 18:15(私のようなひとりの預言者をあなたのために起こされる。彼に聞き従わなければならない。) ・キリストが、真の預言者として来られた。 ・ただ唯一の道はキリストのみである。 ・私達は、道を伝える万人預言者である。

現場地教会(2022 年 5 月 9 日～2022 年 5 月 15 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ

私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ

2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ

われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「70 人弟子とレムナント運動」(申 6:4-9)

【讚美】 411 主われを愛す

【祈り】

①教会の祈りの課題

※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。

②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

御座の祝福を味わう (3・9・3 契約の祈り)	【吐いて】主は生ける神の御子キリストです。 【吸って】いま神の御霊で満たしてください。 【吐いて】御言葉の力が臨まれますように。 【吸って】キリストの御霊で満たしてください。 【吐いて】3つの呪いを解決する力が臨まれますように。 【吸って】助け主聖霊様で満たしてください。 【吐いて】聖霊様の力が臨まれますように。 【吸って】3つの超越の力で満たしてください。 【吐いて】御座の祝福・時空間を超える 237 の光の力が臨まれますように。 【吸って】3つのいのちで満たしてください。 【吐いて】神の形・いのちの息・エデンの園の祝福が臨まれますように。 【吸って】3つの空前絶後の祝福で満たしてください。 【吐いて】空前絶後の私・教会・タラントが回復されますように。 【吸って】3つの時代の祝福で満たしてください。 【吐いて】牧師・重職者・レムナントの時代を味わう祝福をください。
契約の祈り (主日礼拝)	1. ただキリストだけがすべての問題の解決者であり、ただキリストだけで十分・完全・満足であることを告白します。 2. 悪魔は他のものが混ざるように騙しますが、御言葉でただキリストだけを毎日刻印するとき、ただキリストで結論を出して周りの文化を変える 70 人弟子になることを信じます。 3. そのために朝昼晩の祈りで御座の祝福を味わう霊的な力を受け、他の人をただキリストの 70 人弟子にし、次世代をただキリストのサミットレムナントとして立てる主役になりますように。
お知らせ	1、70 人弟子メッセージ 本日 14 : 00 2. 本日、3 部礼拝後に四日市教会に岡田かつや議員が訪問します。
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8 / tel : 052-238-6003 主日(日曜) 1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00	